

ギニア共和国

主要データ

国名〔英名〕	ギニア共和国〔Republic of Guinea〕
面積 (km ²)	245, 857
海岸線延長 (km)	320
人口 (百万人)	10. 9
人口密度 (人/km ²)	44. 3
GDP (百万 US\$)	5, 463
一人当り GDP (US\$)	503
主要鉱産物：鉱石	ボーキサイト、金
主要鉱産物：地金	なし
鉱業管轄官庁	鉱山地質省 (The Ministère des Mines et de la Géologie)
鉱業関連政府機関	鉱業開発投資促進センター (Centre de Promotion et de Developpement Miniers)
鉱業法	Mining Code (鉱業法)
ロイヤルティ	ベースメタルの鉱石：7%、精鉱：3. 5% ボーキサイト：10%、アルミナ：5%
外資法	なし
環境規制法（環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等）	なし
鉱業公社	Campagnie des Bauxitee de Guinee (CBG)
鉱業活動中の民間企業	AngloGold Ashanti Ltd、UC Rusal
近年の鉱業関連問題（資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等）	・ 2011 年、鉱業法が改正され、政府の持ち分比率が拡大。
2011 年のトピックス	・ 2011 年、鉱業法が改正され、政府の持ち分比率が 15%から 35%に拡大。 ・ 前軍事政権下で締結された鉱業契約の見直しが現在行われている。

1. 鉱業一般概況

(1) 概況

ギニアは、世界で第 5 位のボーキサイト生産国であり、2011 年は 2010 年比 7. 7%増の 17, 695 万 t が生産され、世界最大級の埋蔵量 (74 億 t) を誇ると言われている。他の鉱産物としては、セメント、ダイヤモンド、金、岩塩が生産されているほか、黒鉛、鉄鉱石、石灰岩、マンガン、ニッケル、ウランの鉱徴が確認されており、鉄鉱石については、埋蔵量は 100 億 t とも言われている。

ギニアにおける鉱業分野の監督機関は鉱山地質省 (Ministère des Mines et de la Géologie) であり、鉱業法 (Mining Code) は 1995 年及び 1998 年に改正され、鉱業関係の投資を扱う鉱業開発投資促進センター (Centre de Promotion et de Developpement Miniers) が 1995 年に設立された。また、2011 年には政府の持ち分比率を 15%から 35%に拡大することを主眼とした同法の改正が行われ、政府は 15%の権益を無償で取得できるほか、新たに 20%を有償で取得できることとして整理された。

(2) 最近の鉱業をめぐる動き

2007 年 2 月にクヤテ新首相が選任され、政府は財政健全化、経済の安定、統治の改革のための新・経済計画を発表し、構造調整プログラムに着手した。IMF や世界銀行の支援を受け、2007 年 7 月より鉱業法と鉱業契約の見直し、特に鉱業税制の見直しを始めた。

しかしながら、2008 年 12 月 22 日、コンテ大統領が病気により死去。その翌 23 日に、ムサ・ダディス・カマラ大尉を中心とする「民主主義と発展のための国民評議会(CNDD)」がクーデターにより政権を掌握し、暫定軍事政権が発足。国際社会はクーデターを非難し、African Union(AU) や、Economic Community Of West African States (ECOWAS) 等はギニアの参加資格を凍結した。

暫定軍事政権は、新しい体制が確立するまで全鉱山の操業停止を命じたが、翌日にはその決定は取り消された。その後、カマラ大尉は、鉱山企業と個別に結んでいる鉱業契約の見直しを宣言。軍事政権は、前鉱山大臣の逮捕や鉱山閉鎖をちらつかせて各鉱山会社への圧力を強めた。

2009 年 12 月、カマラ大尉は頭部に銃弾を受け負傷したことから、治療のためモロッコに国外退去。2010 年にコンパオレ・ブルキナファソ大統領の調停の下に結ばれた「ワガドゥグ共同宣言」に基づき、コテナ暫定大統領の下、野党党首ドーレ氏が首相として参画する暫定国家統一政府が発足。2010 年 6 月(第 1 回投票)及び 11 月(第 2 回投票)により行われた大統領選挙の結果、12 月にアルファ・コンデ大統領が就任した。アルファ・コンデ大統領は 1958 年の国家独立以来、民主的なプロセスを経て選出された初めての大統領であり就任以降は、後述のとおり鉱業法の改正や鉱業契約の見直しが進められている。

(3) Simandou 等主要プロジェクトの状況

2008 年 12 月、暫定軍事政権は Simandou Block 1&2 鉄鉱石プロジェクトの探鉱権を Rio Tinto から没収。本鉱区は 2009 年 7 月、イスラエルのダイヤモンド富豪 Beny Steinmetz 氏が保有する BSG Resources(英)に付与された。2010 年 5 月に Vale は、BSG Resources 社が保有する株式 51%を 25 億 US\$にて取得。これにより Simandou Block 1&2 鉄鉱石プロジェクトの権益は、Vale が 51%、BSG Resources が 49%となり、現在建設中である。今後 2012 年に年産 1,000 万~1,500 万 t の規模で操業を開始し、最終的に 2014 年までに年産 5,000 万 t まで拡張する計画である。

また、Simandou Block 1&2 鉄鉱石プロジェクトに隣接する Simandou Block 3&4 鉄鉱石プロジェクトでは、Rio Tinto により探鉱が進められてきたところ、同社は 2010 年 3 月に Chinalco と MOU を締結し、権益 44.65%を 13.5 億 US\$で取得したことを発表した。これにより同プロジェクトの権益割合は、Rio Tinto : 50.35%、Chinalco : 44.65%、IFC : 5%となっている。Chinalco は 13.5 億 US\$の資金調達に当たり、宝鋼集団、中国鉄建、中国交通建設、中国-アフリカ発展基金より資金拠出を仰ぐ予定であることが 2011 年 12 月に報道されている。同社はまた、2011 年 4 月に権益保全のための和解金としてギニア政府へ 7 億 US\$を支払うとともに、プロジェクトへの参画オプションをギニア政府へ付与したことから、最終的にギニア政府も権益を取得すると見込まれる。Simandou Block 3&4 プロジェクトの精測及び概測資源量は約 11 億 t、鉄品位は 65.99%であり、世界でも指折りの大規模案件と言われており、生産開始は 2015 年を予定している。

Simandou プロジェクト以外では、Bellzone Mining 社(豪)と中国国際基金有限公司(CIF)が Forecariah 鉄鉱石プロジェクトを 2012 年 5 月より生産を開始させているほか、Kalia 鉄鉱石プロジェクトも 2015 年の生産開始に向け現在開発中である。Forecariah 鉄鉱石プロジェクトの計画生産量は 4 百万 t/年、Kalia 鉄鉱石プロジェクトは 25 百万 t であり、CIF は両プロジェクトについて権益見合い相当の 50%の鉱石引取権を保有している。

(4) その他

暫定軍事政権は前政権時に締結された Friguia アルミ製錬所の UC Rusal(露)への売却契約について、価格が不当に低かったとしてギニアの国内裁判所へ提訴した。一審では政府側勝訴、2010 年 3 月の控訴審では Rusal 側が勝訴している。2010 年 6 月には、ロシア政府も加わりこの問題について協議が行われた。これに関連し 2009 年 4 月、同アルミ製錬所の賃上げをめぐるストライキが発生したが、同製

鍊所の賃金水準は同国ではトップレベルにあり、最終的に賃上げがないままにストライキが収束したため、同製鍊所の奪還を狙う同軍事政権による主導で行われたとメディアは分析している。2009 年 9 月には、環境税未納との理由により同製鍊所の製品(アルミナ)がコナクリ港で税関当局により輸出を一時差し止められる事件が発生している。

2. 鉱業政策の主な動き

アルファ・コンデ大統領は就任後、鉱業法の改正に意欲を示し、現行は 15%となっている政府の持ち分比率を最大 35%にまで拡大させる鉱業法改正案が 2011 年 9 月に国会で採択された。35%の内訳は、政府への無償譲渡分が 15%であり、政府はさらに 20%を有償で政府へ取得できることになっている。また大統領は、カマラ大尉政権下で締結された鉱業契約にはギニア政府にとって不利な内容が含まれているとして鉱業契約の見直しを発表した。鉱業契約の見直しを行う有識者による専門の委員会が 2012 年 4 月発足し、大統領が委員長となっている。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 1. 金属鉱石生産量

鉱種	2009 年	2010 年	2011 年	対前年増減比(%)
ボーキサイト(千 t)	14,774.2	16,427.3	17,695.4	7.7
金(t)	17.5	24.8	23.7	-4.4

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2012)

(2) 主要金属地金生産量

データなし

(3) 主要金属消費量

データなし

(4) 主要金属輸出量

データなし

(5) 主要金属輸入量

データなし

4. 鉱山・製鍊所状況

表 2-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益: %)	鉱種	2011 年生産量
Boke(Sangaredi) 鉱山	Halco(Mining) Inc(51) ギニア政府(49) (Halco の株式 45%は Alcoa が所有)	ボーキサイト(千 t)	12,500
Fria 鉱山	United Company Rusal(100)	ボーキサイト(千 t)	1,900
Kindia 鉱山	United Company Rusal(100)	ボーキサイト(千 t)	3,000
Lefa Corridor 鉱山	Crew Gold Corp(100)	金(t)	6.1
Siguiri 鉱山	AngloGold Ashanti Ltd.(85) ギニア政府(15)	金(t)	9.1

表 2-2. 製錬・精錬所生産状況

	権益所有企業(権益：%)	鉱種・形態	生産量	備考
Kimbo(Friguia) アルミナ精錬所	United Company Rusal(100)	アルミナ(千 t)	574	2011 年生産量 国内唯一のアルミナ精錬所 精錬能力は 700 千 t

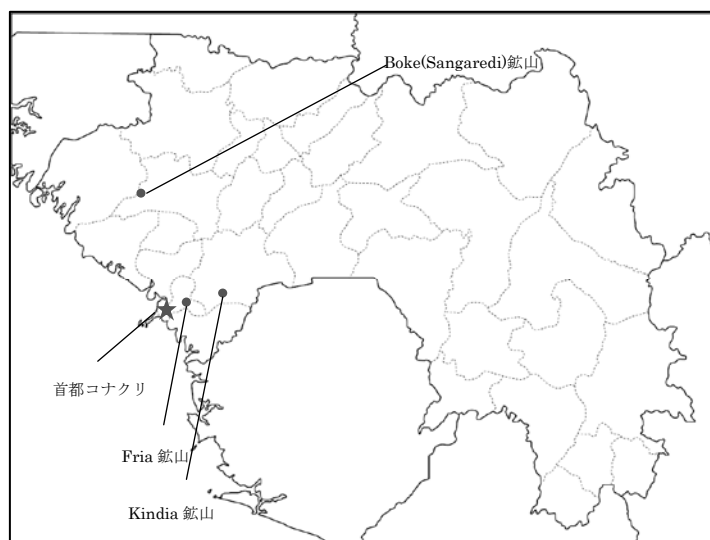


図 1. 主要鉱山位置図

5. 探鉱状況

表 3. 主要探鉱プロジェクト一覧

ステージ	プロジェクト名	鉱種	権益所有企業(権益：%)
開発段階	Simandou Block 1 & 2	鉄鉱石	Vale SA (51), BSG Resources Ltd(49)
	Forecariah	鉄鉱石	Bellzone Mining plc (50), 中国国際基金有限公司(CIF) (50)
F/S 段階	Kalia	鉄鉱石	Bellzone Mining plc (100.0), 中国国際基金有限公司(CIF)が港湾・鉄道整備を支援し、5割の鉱石引取権を保有)
試錐探鉱段階	Nimba	鉄鉱石	BHP Billiton Group(100)
	Simandou Block 3 & 4	鉄鉱石	Rio Tinto plc (50.35), Chinalco(44.65), IFC (5) (ギニア政府がオプション権を保持)
	Firawa	ウラン, ランタン	Forte Energy NL (100)
初期探鉱段階	Mount Kakoulima	ニッケル, 銅, コバルト, パラジウム, プラチナ	Quadra FNX Mining Ltd (50), Mega Uranium Ltd (50)

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

データなし

(2) 日本企業による投資状況等

なし

7. その他トピックス

- ・ 2011 年 8 月、中国電力投資集団公司在ボーキサイト鉱山開発に係る議定書をギニア政府と締結。
- ・ 2011 年 8 月、Kelta ダムの水力発電所 (240MW) の建設に係る約 4 億 US\$ の資金支援を中国水利電力對外会社が供与することを発表。

(2012. 8. 31 ロンドン事務所 小嶋吉広)